

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月13日 (2008.11.13)

【公表番号】特表2004-512292(P2004-512292A)

【公表日】平成16年4月22日 (2004.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2004-016

【出願番号】特願2002-537272(P2002-537272)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/30 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/72 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/10 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/00 C

A 6 1 K 7/00 D

A 6 1 K 7/00 J

A 6 1 K 7/032

A 6 1 K 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月25日 (2008.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (a) (i) $C_4 \sim C_{18}$ 直鎖および / または分枝鎖アルキルアルコールの (メタ) アクリレートエステル約 10 ~ 85 重量%と、

(ii) 6 ~ 20 個の炭素原子を含有する飽和または不飽和環式アルコールの (メタ) アクリレートエステル約 10 ~ 70 重量%とを含む少なくとも 1 つの共重合体、および

(b) 水、 $C_1 \sim C_4$ 分枝鎖または直鎖脂肪族アルコール、およびそれらの組合わせからなる群より選択される、水性担体、溶剤、またはビヒクル構成要素を

含む水性エマルジョンまたは分散体形態の組成物であって、

マスカラ、ファンデーション、ほお紅、粉おしろい、アイライナー、アイシャドウ、口紅、虫よけ、マニキュア、皮膚保湿剤、スキンクリーム、ボディローション、および日焼け止め剤からなる群より選択される、化粧品およびパーソナルケア用途で使用される組成物。

【請求項 2】 前記 (a) (i) 構成要素が、イソオクチル (メタ) アクリレート、n - ブチル (メタ) アクリレート、イソブチルアクリレート、t - ブチル (メタ) アクリレート、2 - メチルブチルアクリレート、2 - エチルヘキシル (メタ) アクリレート、n - オクチル (メタ) アクリレート、イソノニル (メタ) アクリレート、ラウリル (メタ) アクリレート、オクタデシル (メタ) アクリレート、およびそれらの組合わせからなる群より選択され、前記 (a) (ii) 構成要素が、ビシクロ [2.2.1] ヘプチル (メタ) アクリレート、アダマンチル (メタ) アクリレート、3, 5 - ジメチルアダマンチル (メタ) アクリレート、イソボルニル (メタ) アクリレート、トリル (メタ) アクリレート、フェニル (メタ) アクリレート、t - ブチルフェニル (メタ) アクリレート、2 - ナフ

チル（メタ）アクリレート、ベンジルメタクリレート、シクロヘキシルメタクリレート、メンチルメタクリレート、3, 3, 5 - トリメチルシクロヘキシルメタクリレート、ジシクロペンテニル（メタ）アクリレート、2 - （ジシクロペンテニルオキシ）エチル（メタ）アクリレート、およびそれらの組合わせからなる群より選択される、前記共重合体が約20重量%までの親水性モノマーをさらに含み、前記親水性モノマーが、アクリル酸、メタクリル酸、N - ビニル - 2 - ピロリドン、およびそれらの組合わせからなる群より選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】 前記組成物がフィルムに成形され、前記フィルムをASTMD 2979 - 95に従って試験すると約50g未満の粘着力を有し、前記フィルムをASTMD 4338 - 97に従って試験すると可撓性試験に合格する、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】 35 未満の T_g を有する請求項1～3のいずれか1項に記載の組成物。